

2023. 3. 10

No.049

取手駅「2022年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ 2月27日 第1回団体交渉を行う！（その3）

5.指定席券売機の案内に対する教育体制及びそのスケジュールについて具体的に明らかにすること。

回答：引き続き、駅内の勉強会を通じて必要な教育は実施していく考えである。

組合 案内体制を全社員がやっていかななくてはならない。勉強会もやっているが今日段階でフォローもされてない中でどのように考えているのか。

会社 2月20日、21日に勉強会を開催したが、参加出来ていない社員もいるのでフォローをしっかりとっていく。必要な操作方の周知やスキルなど実践をつかって営トレでの対応も会社としてやっていく考えである。

組合 資料も完璧というような事を会社は言っているが、やる人がいなくて苦労して作成してる社員もいる。資料を見て不備なところもあるが、そのような内容で勉強会を開催している。首都圏本部からわかりやすい資料が事前に出ていればそんなに困らない。結局現場任せになっているのではないか。ただ窓口を潰せばよいということではない。

会社 社員の意見をしっかりと受け止める。実施前の2日というところであるが、実施後もしっかりと十分に組み合わせていただく。

組合 しっかりと十分とかの具体的な事をひとつでも教えてもらえますか。

会社 駅の社員の理解度だとかその後のフォローの状況、巡回等も含めモビリティサービスとしても施策実施、状況については確認、把握をしていく。

6.出札窓口閉鎖に伴う案内体制については確保すること。

回答：必要な体制は確保していく考えである。

組合 しっかりと案内の確保をしていかななくてはならない。どのようにつくるのか

会社 現行つくられている作業ダイヤで改札補助で取らせていただいている時間もあり、それ以外に多売期、定期多売、GW等関係箇所との連携となるが常磐線の駅は春の定期多売は混雑するという認識はある。上野MOやモビリティ等の派遣みたいな形で対応したい。

組合 混雑は想定しているから応援体制は来るということか。

会社 現時点では必ず来るとはならないが、必要な体制や混雑ニーズについては上野MOや、現時点で学校の入学式がいつかを聞いて上野MOに頼らず情報と連携をつくる。

組合 上野MO等から応援体制が来るのはありがたいが、普段案内などをやっていない方が現場に来ては意味がない。来る人たちの教育もやってもらいたい。

会社 今後管理者とコミュニケーションを図りつつ、連携先としては上野MOや間に合わなければモビリティサービスからの派遣、どこまでスキルが共用できるか分からないが、全くない中ではご迷惑をかけるのでしっかりと派遣元と連携を図る。

**スケジュールや現場とのやり取りが遅く、施策の進め方が
杜撰であると言わざるを得ない。
現場の社員やお客さまが不幸になる施策は認められない！！**